

第29条（決済手段）
利用者は、利用料金その他の債務を、各利用者ごとにALSが承認した方法で弁済するものとします。

第30条（債権譲渡）
ALSは、利用者に一定の期間、利用料金の不払い等の事情がある場合、利用者に対して有する利用料金その他の債権を、法務省の営業許可を得た債権管理回収業者に譲渡することができるものとします。
利用者は、この債権譲渡を承諾するものとします。

第6章 利用制限、サービス提供の中断及び終了
第31条（利用制限）
1. ALSは、利用者が以下のいずれかに該当する場合は当該利用者の承諾を得ることなく、当該利用者のSDSサービスの利用を制限することがあります。
(1) 当該利用者が関与することにより第三者に被害が及ぶおそれがあると判断した場合。
(2) 利用状況、ALSに寄せられた苦情等から、当該利用者の個人認証情報が第三者に無断で利用されたと推測される場合。
(3) 郵便、電話、FAX、電子メール等による連絡がとれない場合。
(4) 上記各号の他、ALSが緊急性が高いと認めた場合。
2.ALSが前項の措置をとったことで、当該利用者がSDSサービスを使用できず、これにより損害が発生したとしても、ALSは一切責任を負いません。

第32条（データ等の削除）
1. 利用者がSDSサービス用設備に蓄積したデータ等がALSが各SDSサービスごとに定める所定の期間又は量を超えた場合、ALSは利用者に事前に通知することなく削除することがあります。またSDSサービスの運営及び保守管理上の必要から、利用者に事前に通知することなく、利用者がSDSサービス用設備に登録したデータ等を削除することがあります。
2. ALSは、前項に基づくデータ等の削除に関し、一切責任を負いません。

第33条（一時的な中断）
1. ALSは、以下のいずれかの事由が生じた場合には、利用者に事前に通知することなく、一時的にSDSサービスの全部又は一部の提供を中断することがあります
(1) SDSサービス用設備等の保守を定期的に又は緊急に行う場合。
(2) 火災、停電等によりSDSサービスの提供ができなくなった場合。
(3) 地震、噴火、洪水、津波等の天災によりSDSサービスの提供ができなくなった場合。
(4) 戦争、動乱、暴動、騒乱、労働争議等によりSDSサービスの提供が できなくなった場合。
(5) その他、運用上又は技術上ALSがSDSサービスの一時的な中断が必要と判断した場合。
2. ALSは、前項各号のいずれか、又はその他の事由によりSDSサービスの全部又は一部の提供に遅延又は中断が発生しても、これに起因する会員又は第三者が被った損害に関し、この会員規約で特に定める場

合を除き、一切責任を負いません。

第10章 そ の 他
第39条（研究協力）
ALSは、人と犬とのより良い関係づくりのために様々な研究に取り組んでおります。そのため皆様には研究・調査の依頼をすることがありますので、ご協力お願い致します。（研究協力依頼の際は必ず実験内容を説明させていただきます。研究内容にご協力いただける方のみご参加ください。）

第40条（専属的合意管轄裁判所）
利用者とALSの間で訴訟の必要が生じた場合、東京地方裁判所を利用者とALSの第一審の専属的合意管轄裁判所とします。

第42条（準拠法）
この利用者規約に関する準拠法は、日本法とします。

附 則
この利用者規約は2017年4月1日から実施します。
当社((株)Animal Life Solutions)は、個人情報の重要性を認識し、以下の取り組みを実施いたしております。

合を除き、一切責任を負いません。

第34条（サービス提供の終了）
1. ALSは、ALSが定める方法によって事前通知をした上で、SDSサービスの全部又は一部の提供を終了することがあります。
2. ALSはSDSサービスの提供の終了の際、前項の手続を経ることで、終了に伴う責任を免れるものとします。

第7章 利用者規約違反等への対処
第35条（利用者規約違反等への対処）
1. ALSは、利用者が利用者規約に違反した場合もしくはそのおそれのある場合、利用者によるSDSサービスの利用に 関してALSにクレーム・請求等が寄せられ、かつALSが 必要と認めた場合、又はその他の理由でALSが必要 と判断した場合は、当該利用者に対し、以下のいずれか 又はこれらを組み合わせて講ずることがあります。
(1) 利用者規約に違反する行為又はそのおそれのある行為を止めること、及び同様の行為を繰り返さないことを要求します。
(2) ALSに寄せられたクレーム・請求等の解消のための当事者間の協議(裁判外紛争解決手続きを含みます。)を行うことを要求します。
(3) SDSサービスの使用を一時停止とし、又は強制退会処分(利用者契約の解約を意味し、以下同様とします。)とします。
2. 前項の規定は第14条(自己責任の原則)に定める利用者の自己責任の原則を否定するものではありません。
3. 利用者は、本条第1項の規定はALSに同項に定める措置を講ずべき義務を課すものではないことを承諾します。また、利用者は、ALSが本条第1項各号に定める措置を講じた場合に、当該措置に起因する結果に関し、ALSを免責するものとします。
4. 利用者は、本条第1項の第3号の措置は、ALSの裁量により事前に通知なく行われる場合があることを承諾します。

第36条（ALSからの解約）
1. 前条(利用者規約違反等への対処)第1項第3号の措置の他、利用者が以下のいずれかに該当する場合は、ALSは当該利用者事前に何等通知又は催告することなく、SDSサービスの使用を一時停止とし、又は強 制退会処分とすることができるものとします。
(1) 第8条(申込の不承諾)第1項各号のいずれかに該当することが判明した場合。
(2) 利用料金その他の債務の履行を遅滞し、又は支払を拒否した場合。
(3) 利用者に対する破産の申立があった場合、又は利用者が成年後見開始の審判、保佐開始の審判もしくは補助開始の審判を受けた場合。
(4) ALSから前条(利用者規約違反等への対処)第1項第1号から第2号のいずれかの要求を受けたにもかかわらず、要求に応じない場合。
(5) 長時間の架電、同様の問い合わせの繰り返しを過度に行い、又は義務や理由のないことを強要し、ALSの業務が著しく支障を来たした場合。

個人情報保護ポリシー
制定:2007年 1月13日

当社((株)Animal Life Solutions)は、個人情報の重要性を認識し、以下の取り組みを実施いたしております。

1. 当社は、お客様個人に関する情報(以下「個人情報」といいます。)を取り扱っている部門あるいは部署単位で管理責任者を置き、その管理責任者に適切な管理を行わせております。
2. お客様から、お客様の個人情報を取得させていただく場合は、利用目的をできる限り特定するとともに、お客様に対する当社の窓口等をあらかじめ明示したうえで、必要な範囲の個人情報を取得させていただきます。
3. 当社は、お客様より取得させていただいた個人情報を適切に管理し、お客様の同意を得た会社以外の第三者に提供、開示等一切いたしません。
4. 当社が、上記 3. におけるお客様の同意に基づき個人情報を提供する会社には、お客様の個人情報を漏洩や再提供等しないよう、契約により義務づけ、適切な管理を実施させております。
5. 当社は、お客様に有益と思われる当社のサービス、又は提携先の商品、サービス等の情報を、電子メール、郵便等によりお客様に送信もしくは送付し、または電話させていただく場合がございます。お客様は、当社が別途定める方法にてお申し出いただくことにより、これらの取扱いを中止させたり、再開させたりすることができます。
6. お客様が、お客様の個人情報の照会、修正等を希望される場合には、お客様に対する当社各窓口までご連絡いただければ、合理的な範囲ですみやかに対応させていただきます。
7. 当社は、当社が保有する個人情報に関して適用される法令、規範を遵守するとともに、上記各項における取り組みを適宜見直し、改善していきます。

2007年1月13日
株式会社Animal Life Solutions
代表取締役 鹿野 正顕

(6) その他ALSが利用者として不相当と判断した場合。
2. 前条(利用者規約違反等への対処)第1項第3号又は前項により強制退会処分とされた者は期限の利益を喪失し、当該時点で発生している利用料金その他の債務等ALSに対して負担する債務の一切を一括して弁済するものとします。
3. 利用者が第17(禁止事項)に違反し、又は本条第1項各号のいずれかに該当することで、ALSが損害を被った場合、ALSは、SDSサービスの使用の一時停止又は強制退会処分の有無にかかわらず、当該利用者(利用者契約を解約された者を含みます。)に対し被った損害の賠償を請求できるものとします。

第8章 損害賠償
第37条（免 責）
1. SDSサービス利用の際に発生した、咬傷事故等をはじめとしたあらゆる事故に関してALSは一切の責任を負いません。
2. ALSは、SDSサービスの利用により発生した利用者の損害(第三者との間で生じたトラブルに起因する損害を含みます。)に対し、利用者がこの利用者規約を遵守したかどうかに関係なく、一切責任を負いません。
3. ALSは、ALS又は提携先が提供するデータ等を利用して第三者が登録するデータ等について、その完全性、正確性、適用性、有用性等に関し、一切責任を負いません。
4. ALSは、利用者がSDSサービス用設備に蓄積したデータ等が消失し、又は他者により改ざんされた場合 、技術的に可能な範囲でデータ等の復旧に努めるものとし、その復旧への努力をもって、消失又は改ざんに伴う損害賠償の請求を免れるものとします。
5. SDSサービスの内容はALSがその時点で提供可能なものとし、利用者に対するALSの責任は、利用者が支障なくSDSサービスを利用できるよう、善良なる管理者の注意をもってSDSサービスを提供することに限られるものとします。
6. 第31条(利用制限)第2項、第32条(データ等の削除)第2項、第33条(一時的な中断)第2項、本条第4項に定める他、ALSはSDSサービスを提供できなかったことにより発生した利用者又は第三者の損害に対しこの利用者規約で特に定める場合を除き、一切責任を負いません。

第9章 個人情報
第38条（個人情報）
1. ALSは、個人情報を別途示される「個人情報保護ポリシー」に基づき、適切に取り扱うものとします。
2. ALSは、個人情報を、以下の利用目的の範囲内で取り扱います。
(1) SDSサービスを提供すること。
(2) SDSサービスレベルの維持向上を図るため、アンケート調査、及び分析を行うこと。
(3) 学術研究を目的とし、アンケート調査、飼い犬の行動、生理等、学問的範疇に沿って調査すること。
(4) 個々の利用者には有益と思われるALSのサービス(SDSサービスに限りません。)又は提携先の商品、サービス等の情報を、メール、郵便等により送付し、又は電話すること。

(5) 利用者から個人情報の取扱いに関する同意を求めするために、電子メール、郵便等を送付し、又は電話すること。
(6) 利用者の解約日より1年間を限度として、前4号に定める利用目的の範囲内において個人情報を取り扱うこと。
(7) その他利用者から得た同意の範囲内で利用すること。
3. ALSは、前項の利用目的の実施に必要な範囲で個人情報の取り扱いを委託先に委託することができるものとします。
4. ALSは、個人情報の提供先とその利用目的を通知し承諾を得ること(それらを明示し、利用者が拒絶する機会を設けることを含みます。)を行わない限り、第三者に個人情報を開示、提供しないものとします。
5. 本条第4項にかかわらず、ALSは、以下の各号により個人情報を開示、提供することがあります。
(8) 刑事訴訟法第218条(令状による差押え・捜索・検証)その他同法の定めに基づく強制的処分が行なわれた場合には、当該処分の定める範囲で開示、提供することがあります。
(9) 生命、身体又は財産の保護のために必要があるとALSが判断した場合には、当該保護のために必要な範囲で開示、提供することがあります。
6. 本条第4項にかかわらず、利用者によるSDSサービス又は提携サービスの利用に係わる債権・債務の特定支払い及び回収に必要なと認めた場合には、ALSは、必要な範囲で金融機関又は提携先等に個人情報を開示、提供することがあります。
7. 本条第4項にかかわらず、第30条(債権譲渡)に定める債権譲渡のために必要と認めた場合には、ALSは、必要な範囲で債権の譲渡先である債権管理回収業者に個人情報を開示、提供することがあります。
8. 利用者は、自らの個人情報をSDSサービスを利用して公開するときは、第14(自己責任の原則)、第36条(免責)第2項及び第4項が適用されることを承諾します。
9. ALSは、利用者の個人情報の属性の集計、分析を行い、個人が識別・特定できないように加工したものの(以下「統計資料」といいます。)を作成し、新規サービスの開発等の業務の遂行のために利用、処理することがあります。また、ALSは、統計資料を提携先等に提供することがあります。

誓約書

私はスタディ・ドッグ・スクール®に関わるサービスを受けるにあたり、(株)Animal Life Solutionsの定める「スタディ・ドッグ・スクール®会員規約（2017年 4月1日改定）」に承諾いたします。

平成 年 月 日

ご住所：
〒

お電話番号：

飼い主様のご氏名：印

犬のお名前：
(犬種：)

※複数頭飼育の場合は全てのワンちゃんについてご記入ください。